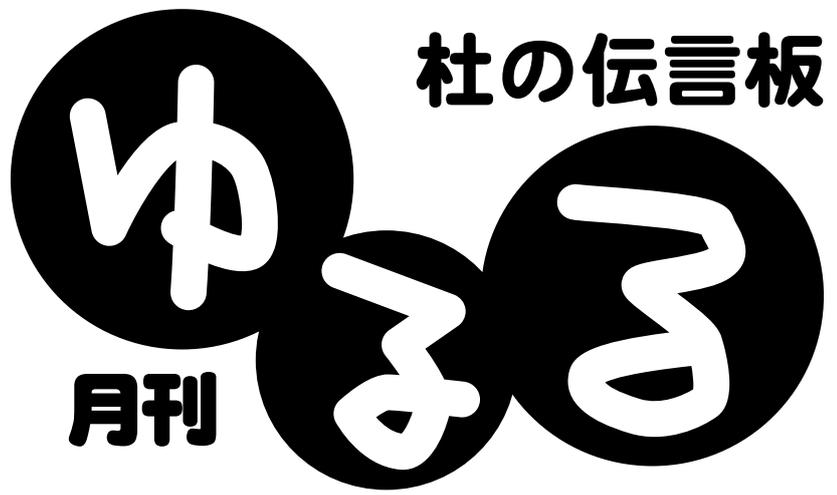


みやぎのボランティア 市民活動情報誌

2017
vol.242
毎月1日発行

7月号

杜の伝言板



- 認定NPO法人杜の伝言板ゆるる創立20周年記念講演
ドラッカー 2020年の日本人への預言 — 市民性を問う
- 泥の中から生きものの大切さを学んだよ!
SAVE JAPAN プロジェクト 「ふゆみずたんぼで田植え体験してみよう！」

みやぎNPOプラザからのお知らせ

支援力アップを目指して！ NPO支援のための基礎研修開催

杜の伝言板ゆるる
ホームページ



認定NPO法人杜の伝言板ゆるる
創立20周年記念講演

ドロッカー
2020年の日本人への預言
市民性を問う



大学改革支援・学位授与機構 田中 弥生さん

今年、杜の伝言板ゆるるは、創立二十周年を迎えました。振り返れば、NPO法ができて十九年目になる今、NPOといえればソーシャルビジネス、コミュニティビジネスと、経済の一翼を担う存在として注目されていますが、二十年前に思い描いたNPOはそうだったでしょうか？ 市民主体の活動は、まさに真の民主主義ともいわれ、社会変革の担い手となってきたはずです。しかし、近年は、経済優先、コミュニティでも行政主導の組織づくりが広がり、大事な部分が忘れ去られていくような感じがします。そこでゆるるは、創立二十周年記念講演として、変化してきた市民社会の在り方を振り返り、改めて活動の原点を探ることにしました。

講師は、市民性を重視しNPOのマネジメント論を唱えたピーター・ドロッカーから直接教えを受けた田中弥生さんをお願いしました。

田中さんは、一九九三年に日本で初めてドロッカーの講演会を企画・実現しました。その後、一九九五年にドロッカー宅そばに居を構えて学び、非営利組織に関するドロッカーの本を翻訳。二〇〇五年に亡くなるまで十一年

間にわたって交流を続け、手元に一〇〇通の手紙を残しているそう。六月十一日の記念講演は、多くの参加者の共感を呼んだことから皆さんにもぜひお伝えしたい！とここに要約版を掲載します。



▲講演する田中弥生さん

ドロッカーの生い立ち

一九〇九年、オーストリアのユダヤ系の家庭に生まれたドロッカーは、比較的自由で恵まれた家庭に育った。大学に籍はおいたものの大学に行くことに意味がないと感じ、実務を学びたいと商社で働いたり、編集の仕事もしていた。一時は小説家を目指したが才能が

ないとあきらめ、独学で経済学の論文を書いたが世界大恐慌になったことで法学に転じ、二十一歳で国際法の博士号を取得。ヒトラーが政権を取った一九三三年、ドロッカーは二十四歳でフランクフルト大学の無給講師となり、ドイツの市民権を得た。

しかし、政権を掌握したナチ党の政治党員が大学に来て、明日からユダヤ人の先生を排除すると通告。会場は沈黙する中、学内でもリベラルな生化学の教授にリーダーシップを期待したが、教授は「とても素晴らしい話をありますがどうぞいまして。ところで自分の生化学の研究費は出してもらえないのでしょうか」という質問だけだったという。そして昨日まで親友といっていた友や同僚も、ユダヤ人であるドロッカーを避けていった。

彼はドイツを離れる決心をし、荷物の整理をしていた時、以前一緒に編集の仕事をしていた元同僚が訪ねてきた。今はナチスの党員で親衛隊になっていた彼は、「君は優秀だから編集者として残らないか」と誘ってきた。しかし口論になり、彼がなぜナチ党に居るのかの質問に答えた「ナチスはおかしいかもしれないが、編集人とし

て力がない自分は、このままうだつが上がないより、ナチスにいれば地位と権力を与えてくれるから。」といったことに失望し、異様な危うさを感じたという。

このフランクフルト大学の生化学の教授と、元編集者との経歴は、後に出版した「経済人の終わり」の原点になる。

ヒトラー全体主義へ

ドイツ帝国から移った世界でも民主的なワイマル共和国は第一次体制の敗戦や世界大恐慌が反映して四年で倒れ、一九二三年に大連立政府が誕生。短期間に選挙と政権交代を繰り返して、一九三二年七月の選挙で、ナチ党が第一党になった。そして翌年の一九三三年一月、政治の内部闘争からヒトラーが首相になり、三月には独裁体制ができた。そしてヒンデンブルグ大統領の死去後は、ヒトラー首相が大統領、国家元首、軍最高司令官、ナチ党最高指導者の地位を得て、総統兼首相を名乗ることになる。

ここで議会制民主主義は抹殺され、反ユダヤ、優生学的人種論、軍事と公共事業を軸にした全体主義へと突き進んで行った。

ドラッカーのナチス批判

では、「なぜナチスは台頭したのか」なぜ、ドイツ国民はナチス全体主義に傾倒していったのか。ドラッカーは次のように分析している。

第一次世界大戦で負けたことによりドイツは多額の賠償金を背負っていました。また、世界大恐慌で失業率は三十三%を超え、国民は不景気と雇用がない不安のどん底に陥っていた。ドラッカーは、当時の失業者の様子について次のように述べている。失業した人は経済的な安定を失うだけでなく、社会とのつながりを持つことができなため、社会の半分しか見えない、半分しか見えない社会は恐怖でしかない。資本主義、社会主義のいずれも自由と平等をもたらすものではないと失望し、政治的信条もわからなくなってしまう。そのような時、スピーチが上手く人をひきつけることに長けていたヒトラーが登場した。ヒトラーは、政権公約として雇用を保障し、生活の安定を保障させることを掲げたが、一方で様々な不安をあおった。すると、人々は「安定さえすれば、経済の自由、思想や言論の自由を犠牲にしても仕方

がない」という考えるようになった。

人々がヒトラーを熱狂的に支持した背景には、軍事産業と公共事業を軸にした経済政策を打ち出し、一時はそれに成功し、ヨーロッパで最初に完全雇用を実現したからだった。そして低所得層の不満を回避するように、お金持ちしか手にできなかった観劇やオペラ、海外旅行を提供したほか、低所得者でも買える車の製造をさせた。

一方、ユダヤ人を排除することや、人種的に劣勢であるジプシーや障害を持った人、認知症の人という人々は遺伝学的に劣勢であるという理由で排除し、収容所に収監したり、抹殺した。

では、知識層や中間層はこの状況にどのような対応をしたのか。彼らは、残酷な行為や近隣国からの批判を知っていた。しかし、自らに火の粉がかからぬように、見て見ぬふりをする者が少なくなかった。また、知識層はナチス政府の政策や言動に矛盾があり、おかしいと気づいていた。しかし、無言を保った。ドラッカーは、多くの市民が、フランクフルト大学の生化学の教授と同じ罪、「無関心の罪」を犯していたと、ドラッカーは述べている。そして、

二十一世紀の最大の罪は、権力に溺れ自らを見失った罪ではなく、この「無関心の罪」であると述べた。そして、ドラッカーは次のように結論を述べている。すなわち、結局はナチスというファシズムを国民が選んだのだと。

他方、ヨーロッパや米国でもファシズムのグループがあり台頭していたが、ファシズムを選んだ国とそうでない国がある。その違いは何かとドラッカーは問いかける。それは、「与えられた民主主義」と「獲得した民主主義」の違いであると。つまり、フランスのように、革命によって民主主義を勝ち取っ



▶お話に参加する参加者

たところと、ドイツのように「与えられた民主主義」の記憶しかないところの違いでもあると、述べられている。

ドラッカーは、イギリスに渡り、その後、一九八七年に渡米した。一九三九年、最初の本格的著書で、ナチスの批判的分析をした『経済人の終わり』を出版した。当時はまだナチスが善戦している中で、批判本であった。

「望ましい社会像」

ドラッカーは、ナチスの批判的分析の著書を記しながら、次の本の構想を練っていた。それが、ナチスが敗戦し第二次世界大戦が終わることを前提に、未来の望ましい社会を描いた『産業人の未来』（一九四二年）である。本著の中で、人類が二度とファシズムに陥らないための社会の在り方を追求した結果、行きついた、望ましい社会像が「一人ひとりが位置と役割をもつ自由社会」である。

ドラッカーは、この「望ましい社会像」には二つの条件があると述べた。

①自由政府・政府が勝手に何かをするのではなく、個人の選択と自由意思の決定と責任を担保できる政府である。多数の意見だけでなく、少数の意見が尊重される社会であるべき。政府が持つ権力とは、社会目的達成のために行使されるものである。

②企業社会の役割・政府の権力から市民を守るのは憲法だが、ドラッカーは、それ自体ナチスは破壊してしまつた経験から、憲法のみでは十分ではないと考えた。そこで、政府を牽制するもうひとつの権力構造が必要であり、その役割を企業セクターが担うと考えた。企業が権力を有するのならば、それに見合う役割を果たす必要がある。ひとつは、経済的役割であり、もうひとつは企業で働く人々に「位置と役割」を与えるコミュニティの役割である。

③自治・まず、個人は、投票や納税の責任を果たし、政策や社会のあり方を選択し、責任を持つことである。しかし、同時に、身近な社会課題を自発的に解決するような活動が重要であると指摘する。その例として、アメリカのNPO活動をさし、こうした活動がアメリカの最大の強みである多様性を担保していると述べている。

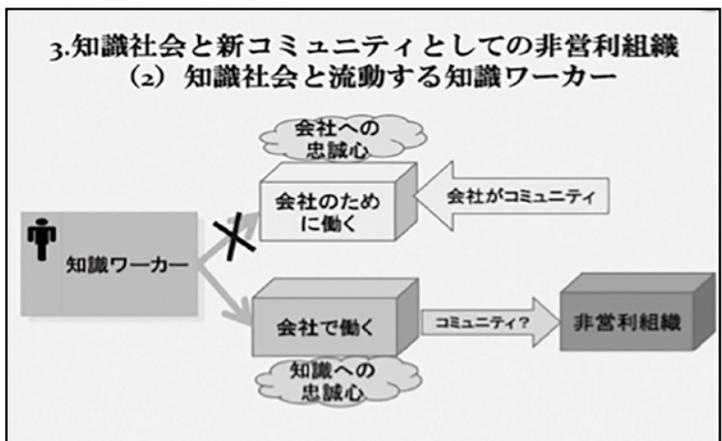
ドラッカーのマネジメント論は、利益を上げ、人を効率よく働かせるためのノウハウ論ではない。「企業が、経済的な役割だけでなく、そこで働く人々に「位置と役割を持つて、いきいきと生きる」場を提供するコミュニティとしての役割を果たすためには、どのような運営をしたらよいのか?」。その問いかけに答えようとするものが、ドラッカーのマネジメント論である。

知識社会と新コミュニティとしての非営利組織

しかし、一九八〇年代頃からは、ドラッカーは、企業にコミュニティの役割を求めなくなった。代わりに、非営利組織について言及するようになった。その背景には、産業社会から知識社会への転換がある。

ドラッカーは、「これからの知識人は、会社のために働くというより、会社で働くことを選り、技術や知識を活かして自分を成長させるところに移っていくだろう。そうになると、会社はコミュニティの役割を果たしにくくなる。だが、人間には、自分が属して、役に立っているという場所が必要であ

▼田中弥生さんの資料より

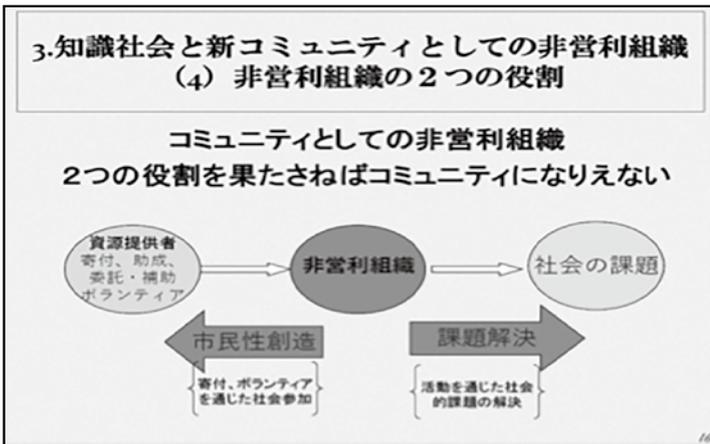


ることには変わりない。したがって、知識社会においては、コミュニティの役割を非営利組織が担うことになるだろうと述べた。

ドラッカーの非営利組織論

非営利組織には、二つの役割がある。一つは、社会課題の解決である。それは、非営利組織が課題をもっている人々にサービスを提供することによって、人々のニーズに対応し、社会課題を解決する役割である。

▼田中弥生さんの資料より



もう一つの重要な役割は、「市民性創造」である。「現代の社会と政治はあまりにも巨大かつ複雑なものとなり、責任ある市民としての社会参加の機会是不可能にしてしまった。市民として我々にできることは、数年に一度投票し、毎年税金を払うことだけである。しかし、非営利組織のボランティアとしてならば、一人ひとりの人間が再び世の中を変えることができる。非営利組織は、市民に積極的・直接的な社会参加の機会を与えることのできる「市民性創造機関」である。」と述べている。つまり、参

最後に、田中さんは、ドラッカーの非営利組織論をベースに作られた「エクセレントNPO」基準と「エクセレントNPO大賞」の紹介をし、講演を終わりました。その後は、多くのNPO関係者での祝賀会へと進みました。

加をしたい、寄付をしたい、非営利組織の課題、使命に関心があったり、自分もその一員として関わりたい、という市民に参加の機会を提供することで成長を促す大事な役割がある。

非営利組織は、課題解決と市民性創造の二つの役割を果たさなければコミュニティになりえないと述べている。



◀にぎやかに催された祝賀会にて

泥の中から生きものの大切さを学んだよ! 「ふゆみずたんぼで田植え体験してみよう!」

一見して同じように見える田んぼでも、生きものが棲みやすい田んぼと棲みにくい田んぼがあるということ、ご存知ですか。

「ふゆみずたんぼ」と呼ばれる田んぼは、冬のあいだも田に水を張ることで、田んぼの生物多様性を保ち、それによって無施肥・無農薬での稲作を可能とする田んぼです。

今回、都市部で生活している親子が「ふゆみずたんぼ」での田植え体験を通し、自然の力と生物多様性の重要性を学びました。

●●● バスに乗って田園地帯へ ●●●

六月四日、十五組の親子、総勢三十九名が大崎市田尻大貫にある「ふゆみずたんぼ実験田」で田植え体験をしました。

参加者たちは朝に仙台駅に集合し、そこからバスで約一時間半、連綿と稲作文化が継承され続け、現在、国連食糧農業機関(FAO)の世界農業遺産への登録に向けて歩みを進めている大崎市へと向かいました。

晴天には恵まれたものの、気温が低く風も強かったことから、当初予定していたプログラムを一部省くことになりましたが、参加者たちは一日中、田植えと生きもの

調査に夢中で取り組んでいました。

これは全国プロジェクト「SAVE JAPANプロジェクト」の一環として、大崎市のNPO法人田んぼと、仙台市に拠点を置くNPO支援組織、認定NPO法人杜の伝言板ゆるるが共催したイベントです。

「SAVE JAPANプロジェクト」は、損害保険ジャパン日本興亜株式会社協賛のもと、「いきものが住みやすい環境づくり」をテーマに全国各地で開催されています。現地の環境NPOとその地域の人々を対象とした体験型の環境保全活動を行うことが特徴です。さらに全国事務局という形で認定NPO法人日本NPOセンターが協力しています。

●●● 生き生きとした子どもたち ●●●

今回のプロジェクトでは、参加



田んぼ理事長岩淵さんからレクチャー

対象を仙台市およびその近郊に住む親子としました。都市部に住み、普段田んぼはおろか、自然の生きものと接する機会も少ない子どもたちに、田んぼを中心とした豊かな生態系に気づいてもらうことで、自らの生活環境や稲作文化のあり方に敏感な大人へと育ててもらいたいという主催者側の意図があったからです。

一方で、田んぼの中で泥だらけになることや、カエルやドジョウといった生きものに触れることを嫌がる子どももいるのではないかと想定していましたが、このような心配は全くの杞憂でした。

NPO法人田んぼのスタッフと現地の農家の方から、水田と田植えについてのレクチャーを受けた子どもたちは、真つ先に田んぼの中に入り、現地スタッフも舌を巻く勢いで苗を植えていきまし。男の子も女の



田んぼの泥は見た目以上に深さがあり、滑ります

田植えをした田んぼはこんなに広い！



子ども泥を跳ね上げて田んぼの中を動き回り、手元の苗がなくなたつフハ催促をくり返しました。

朝の時点では、親から離れたかった子どもたちも、昼食を食べ終わる頃にはすっかりお互いに打ち解け、最後にはどこの子どもも入り交じって活動するようになっていました。

●●●二十二種類もの生きもの発見●●●

今回のイベントは、ただ子どもたちに田植え体験を楽しんでもらうためだけのものではありません。田んぼが従来多くの生きものたちの棲家となってきたこと、田んぼを中心とした生態系を維持するために、無農薬・無施肥の「ふゆみずたんぼ」という手法の普及を進めてきたことを理解してもらうというのが、イベントの主旨でした。

その理由から、午後には、田んぼの周辺に住む「生きもの調査」を実施。参加者の親子たちは、網と採集ケースを持って、田んぼの中・用水路・あぜ道など、生きものを見つけられそうな場所に散っていきました。

約一時間の調査を終え、見つかった生きものは合計二十二種。カエル類、貝類、昆虫類、魚類、クモ類、甲殻類、鳥類など、じつに多様性に富んだ生きものを見つけることができました。

さらに「イトミミズは土を作る、田んぼの神様なんだ」、「アメリカザリガニは本来日本の生態系にはいない外来種」など、生きもの一種類ずつに対して、NPO法人田んぼ理事長の岩淵成紀さんからの解説がありました。

岩淵さんは今回の生きもの調査結果を受け、「イトミミズやマルタニシなどの貝類、カイエビなどの甲殻類が多く見られました。堆肥などの有機物を入れていない水田でも、豊



▶午後は生きもの調査です

どんな生きものが見つかったか、図鑑で確認！



かな土ができていて、本来有機物を食べる生きものに溢れていることがわかります。稲の害虫の天敵のキバラコモリグモや、ニホンアマガエル、シュレーゲルアオガエルも多数見られ、生物多様性を活用して害虫を制御する体制もできています」とコメントしました。

●●●次回は稲刈り●●●

イベントを終え、参加した親の一人は、「娘が田植えをしたがったので参加しました。帰ってきたから娘は自分が植えた苗がどう育っているかが気になっているようです。私自身は初めて田植えをしましたが、土と泥の感触が心地よかったこと、こんなにも多くの生きものがあるんだということが印象に残っています。次もぜひ参加したいです」と、語ってくれました。他の参加者からも、満足の声とともに次回イベントへの期待

が続々と寄せられています。

さて、次回イベントは秋開催で、今回植えた稲の刈り取りと、刈り取った稲で穂仁王(ほんによ)を組む体験を行います。

穂仁王は稲を天日で乾かすことを主な目的として作られますが、イナゴやカマキリの棲息する場として、生物多様性の維持にも役立っています。

このように田植え体験とはまた異なる切り口で、田んぼをめぐる生物多様性の大切さを学ぶイベントとなります。

次回の稲刈り体験イベントの応募は九月ごろから行います。杜の伝言板ゆるるHPのほか、SAVE JAPANプロジェクトのHPでも告知しますので、ご参加を希望される方は時期が迫ってきたら、各HPをご確認ください！

SAVE JAPANプロジェクト

SAVE JAPANプロジェクトは、損保ジャパン日本興亜から寄付をいただき実施しています。損保ジャパン日本興亜の自動車保険等のお客さまにご契約時、「Web証券」や「Web約款」を選択いただいた場合や自動車事故の修理時にリサイクル部品などを活用いただくことで、環境NPOなどへ寄付を行うものです。

SAVE JAPANプロジェクトWebサイト
<http://savejapan-pj.net/>

支援力アップを目指して! NPO支援のための基礎研修開催

みやぎNPOプラザ

このページは、みやぎNPOプラザからのお知らせです。

六月十五日、みやぎNPOプラザ（以下プラザ）で「NPO支援のための基礎研修」が開催されました。現在、宮城県内にはプラザを含め、十二のNPO支援センターがあります。施設の機能や提供するサービスはセンターによって異なりますが、地域や社会の困りごとを解決するために、日々奮闘しているNPOを支援するという役割に違いはありません。当日は、六つのセンターと四つの自治体から十二名の職員が参加し、NPO支援の意義と役割を学び、より良い支援を行うために必要な知識やスキルについて考えました。

支援の意義を学ぶ

研修の前半では、プラザの大久保朝江館長を講師に「NPO支援センターとその役割」と題した基礎講座が行われました。参加者の半数以上が四月に入職した初任者だったこともあり、講座では、NPOへの理解を深めるため、「住んでいる地域を限定せず、特定の社会課題の解決のために共通の問題意識を持った市民が自発的に集い、継続的に活動する組織がNPOである」ということや、NPOと企業・

コミュニティ組織との違いについて、具体的な事例とともに学びました。

最後に、「NPO支援は、団体がより活躍できるように、相手をよく知ることから始まる。上から目線の指導にならないよう、団体の自主性を尊重し、センターとして何をすべきか、スタッフとして自分は何をしなければいけないのかを考え、力をつけて欲しい」とNPOを支援することの意義と心構えで締めくくられました。

支援の在り方を考える

研修の後半では、参加者同士がワークショップを通して、支援センターの在り方について意見交換を行いました。各テーブルでは、「団体の困りごとを知るためにも、積極的なコミュニケーションを図り、信頼関係を築く必要がある」といった意見や「センターでは対応できない相談でも、外部の専門機関や専門家につなぐことができる。そのためには日常的に情報を収集し、対外的なネットワークを作っておかなければならない」といった意見が出されました。研修の最後には、参加者一人一人

が、この一年でNPOを支援する力を高めるための努力目標を発表し、「団体のニーズを深掘りできるように、相談力に磨きをかけたい」などの決意が述べられました。

各センターの職員同士が顔を合わせ、交流できる機会は多くはありません。参加者は他のセンターの職員と意見交換することで、大きな刺激を受け、NPO支援への思いを新たにしました。

プラザでは、今後もこのような機会を設け、各支援センターと連携しながら県内のNPO・市民活動がより活発になる環境づくりに取り組みます。



▶ワークショップの様子

プラザのNPO向け講座・相談

お申込みはコチラから

認定取得への第一歩!認定NPO法人講座 7/7(金) 14:00~16:00

NPOのための会計税務相談 7/20(木) 13:00~17:00

そなえて安心!
NPOのためのリスク管理講座 8/31(木) 13:30~15:30

みやぎNPOプラザ

〒983-0851 仙台市宮城野区榴ヶ岡5
(指定管理者:認定特定非営利活動法人杜の伝言板ゆるる)

☎022-256-0505 ☎022-256-0533
✉npo@miyagi-npo.gr.jp

みやぎのNPO・市民活動を支援するWebサイトです。

みやぎNPO情報ネット

●TEL/FAX: 022-256-0511
●E-mail: info@miyagi-npo.gr.jp
●http://www.miyagi-npo.gr.jp/

みやぎ生協福祉活動助成金

- 助成対象：宮城県内における地域福祉の向上をめざし、福祉活動に関わる地域住民・民間団体の自主的・非営利的で継続的な活動
- 対象団体：宮城県内で活動している団体およびグループ・個人(法人格の有無不問)
- 助成金額：原則として1件あたり上限50万円
※講演会・フォーラム・演奏会などの開催は上限10万円
- 応募締切：7月20日
- 連絡先：みやぎ生協生活文化部 福祉・文化活動事務局
TEL：022-347-3826
URL：<http://www.miyagi.coop/member/fukushi/hotwork/>

2018年度 社会的・文化的諸活動助成

- 助成対象：下記のいずれかに該当する活動
 - ①情報化社会の動向に即し、情報通信を通じて社会、教育、環境等の課題解決に貢献する各種の非営利団体(NPO)・非政府組織(NGO)の活動、「草の根」活動
 - ②情報通信を通じての地域社会の国際化の促進、ならびに開発途上国における教育、文化、生活支援等に関する活動
 - ③情報通信の普及・発展あるいは国際間の相互理解促進に寄与する活動や事業
- 対象団体：非営利団体(NPO)・非政府組織(NGO)
- 助成金額：1件あたり100万円までとし、5件程度
- 応募締切：7月13日(木)必着
- 連絡先：公益財団法人KDDI財団
E-mail：grant@kddi-foundation.or.jp
URL：<http://www.kddi-foundation.or.jp/support/social/>

社会福祉助成事業

- 助成対象：障がい者の福祉向上案件、および難病案件、虐待防止案件を対象とする
- 対象団体：原則として法人・団体であること
※ただし、個人および営利法人等は対象外
- 助成金額：1件あたり60万円を上限(総額700万円以内)
- 応募締切：7月31日(月)必着
- 連絡先：一般財団法人松翁会 事務局
社会福祉事業部 助成係
TEL：03-3201-3225
URL：http://shouohkai.or.jp/zaidanhojin_shououkai/business/
※詳細等については必ずHPを参照の上応募のこと

「子どもと親子のスポーツ活動」・「地域の子どもスポーツ活動」を推進する団体への助成(平成30年度 新規助成)

- 助成対象：1事業の子ども(幼児・小学生)の参加者が30%以上で、「子どもと親子のスポーツ活動」・「地域の子どもスポーツ活動」分野の大会、教室等を行うもの。ただし、他団体から助成を受けていない

事業であること。

- 対象団体：営利を目的としない地域の団体、クラブ、NPO法人
- 助成金額：1件あたり上限20万円
- 応募締切：7月31日(月)
- 連絡先：公益財団法人ライフスポーツ財団
TEL：06-6170-9886(平日9:15～18:00)
URL：<http://www.lsf.or.jp/>

特定活動助成「自然災害支援プログラム」 こころのケアのための「傾聴ボランティア」を応援します

- 対象団体：①被災地でこころのケアのための傾聴ボランティアとして活動をしている団体
②被災地から県外に避難を余儀なくされた方々を対象に、こころのケアのための傾聴ボランティアとして活動をしている団体
※①②とも応募に際して地元社会福祉協議会の推薦があり、すでに団体として1年以上の活動実績があること
- 助成金額：年50万円上限(最長3年間)
※助成額については活動内容および規模により査定
- 募集締切：7月31日(月)午後5時必着
- 連絡先：公益財団法人ユニバール財団
TEL：03-3350-9002
URL：<http://www.univers.or.jp/index.php?katsudojosei>

2017年 Panasonic NPOサポート ファンド (子ども分野・環境分野)

【共通事項】

- 助成対象：第三者の多様で客観的な視点を取り入れた組織基盤強化の一連の取り組みで、以下(1)・(2)の連続している、または(1)・(2)のみの取り組み
(1)組織診断フェーズ (2)組織基盤強化フェーズ
※詳細はHPの要項をご覧ください
<http://www.panasonic.com/jp/corporate/sustainability/citizenship/pnsf.html>
- 助成期間：2018年1月1日(月)～12月31日(月)
- 助成金額：1件あたり上限200万円
(1)のみの場合は上限100万円)
- 募集期間：7月14日(金)～7月31日(月)必着

【子ども分野】

- 対象団体：子どもたちの健やかな育ちを応援する新しい社会の実現を目指し、先駆的な活動と組織の自己変革に挑戦するNPO/NGO(法人格の有無は不問)
- 連絡先：NPO法人市民社会創造ファンド
(子ども分野協働事務局 担当：坂本・武藤)
TEL：03-5623-5055(月～金10:00～17:00)

【環境分野】

- 対象団体：環境問題に取り組み、強い市民社会の創造を目指すNPO/NGO(法人格の有無は不問)
- 連絡先：NPO法人地球と未来の環境基金
(環境分野協働事務局 担当：美濃部・木村)
TEL：03-5298-6644(月～金10:00～17:00)

- 申込方法：FAX、E-mailで開催日前に連絡先まで
①氏名、②所属(職業)、③電話番号、④講座番号
(何回目か)を明記ください。
- 主催：NPO法人地域情報モラルネットワーク
- 連絡先：TEL・FAX：022-243-2409
E-mail：info@neuis.org
URL：http://neuis.org/

7/23 北上川 川遊び体験2017

丸太400本、総重量12tの大イカダで北上川を下るワイルドな体験。川を通して自然との関わりや木の力強さ、水の大切さを学びながら川遊びが楽しめます。

- 日時：7月23日(日)、7月30日(日)、8月5日(土)
- 場所：石巻市桃生町(旧北上川 脇谷開門船着場9:00
出発→植立山公園12:00着)
- 内容：一緒にカヌーやゴムゴート、シーサイクル体験、
昼食に流しソーメンも楽しめます。
- 参加費：中学生以上2,000円、小学生以下1,000円(流し
そうめんの昼食付、保険料込)
- 申込方法：下記スタッフブログ「北上川で遊ぼう」から申込
用紙をダウンロードして、FAXで申し込み。
- 主催：水と緑の環境フォーラムものう
- 連絡先：石巻市桃生町倉坪寺宇後69-1
TEL・FAX：0225-76-1083(担当：白石)
URL：http://blog.livedoor.jp/a256278922/

7/25 自閉症の子どものための演劇フラット シアターシリーズ「ちいさなうみ」上演

この作品は自閉症の子どもの対象とした演劇作品です。障害の特徴を考慮しながら、演劇を楽しむ仕掛けがたくさん詰まっています。本物の泡に触ったり、ハンモックに揺られて風を感じたり、言葉よりも五感を使って楽しむことができます。

- 日時：上演時間は約40分です
7月25日(火) 11:00～、15:00～
7月26日(水) 11:00～、15:00～、(19:00～※)
- 場所：せんだい演劇工房10-BOX box-3
(仙台市若林区卸町2-12)
- 定員：1回の公演につき6組まで
※自閉症のお子様(3才～18歳)1名+ご家族や介護者1名
- 参加費：1組様1500円、一般2000円※一般の方がご観
劇頂けるのは26日19時の回のみです。
- 申込方法：下記連絡先にTEL、E-mailで申込み。申込み時、
子どもの名前・年齢、保護者の名前、TEL、観
劇希望日時をお知らせください。
※ご予約の方にはお電話を差し上げます。

- 主催：NPO法人アートワークショップすんぷちよ
- 連絡先：TEL：070-5017-5904
E-mail：info@sun-pucho.com
URL：http://www.sun-pucho.com/news/20170608

7/29 はじめてのミニイベント「企画運営基礎編」 &「イベント広報編」

市民活動初心者の方を対象に、ミニイベントの企画から当日までのポイントをおさえる「企画運営基礎編」と、人を集めるために必要な広報のポイントをおさえる「イベント広報編」を開催します。どちらか一方だけでも、両方でも受講可能です。

- 日時：7月29日(土)
「企画運営基礎編」10:00～11:00
「イベント広報編」11:10～12:30
- 場所：仙台市市民活動サポートセンター 研修室5
- 講師：仙台市市民活動サポートセンター スタッフ
- 対象：手探りで活動していて、企画の実施に不安のある・広報があまりうまくいっていない市民活動
団体・NPO法人など
- 定員：各15名(先着順)
- 参加費：無料
- 申込方法：下記連絡先にTEL、FAX、E-mailで申込み。
E-mailでお申込の方は、件名を「はじめて講座」とし
て、氏名、TEL、質問事項(あれば)をお知らせください。
- 主催：仙台市市民活動サポートセンター
- 連絡先：TEL：022-212-3010 FAX：022-268-4042
E-mail：sendai@sapo-sen.jp
URL：http://sapo-sen.jp/

8/7 仙台傾聴の会 被災者支援 傾聴 茶話会

いままであまり他に言えなくて…聴いてくれる人がいれば話せるかも…、お茶をのみながらゆっくり話してみませんか。被災された方、一般の方もお待ちしております。

- 日時：8月7日(月)、9月4日(月)
10:30～12:00 (毎月第1月曜日)
- 場所：仙台市市民活動サポートセンター
4階研修室5(サポセン)
- 内容：茶話会
- 参加費：無料 申し込みはいりません、直接会場にお越しください
- 問い合わせ：下記連絡先にTEL、FAX、E-mailでお問合せください。
- 主催：NPO法人仙台傾聴の会
- 連絡先：TEL：090-6253-5640 FAX：022-343-9705
E-mail：moriyama-e@tulip.sannet.ne.jp
URL：http://sendai-keicho.sakura.ne.jp/wp/

情報をお待ちしています

- 申込方法：問合せ先を明記の上、
FAX、e-mail、郵送にてお寄せ下さい。 **掲載は無料です!**
- 締切：毎月15日(翌月15日以降開催・締切となる情報を掲載します)
- 紙面の都合で掲載できない場合があります。 ○ お問合せは事務局まで。
※申込みいただいた情報は「みやぎNPO情報ネット」にも提供いたします。

認定NPO法人杜の伝言板ゆるる
〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡3-11-6 コーポラス島田B6
TEL：022-791-9323 FAX：022-791-9327
e-mail：npo@yururu.com

みやぎのNPO・市民活動を支援するWebサイト 「みやぎNPO情報ネット」

<http://www/miyagi-npo.gr.jp>



NPO法人杜の伝言板ゆるるが宮城県と協働で運用する、みやぎのNPO・市民活動を支援するWebサイトです。ボランティアやスタッフの募集、講座・イベントのお知らせ、助成金・行政情報など、市民活動・NPOに役立つ情報が満載です。
問い合わせは、info@miyagi-npo.gr.jpまで

- 場 所：みやぎNPOプラザ 短期ショップスペース
- 主 催：ユニバーサルファッション工房
- 連 絡 先：TEL：090-9037-5556
FAX：022-227-9154 (担当：佐藤)
URL：http://www.miyagi-npo.gr.jp/plaza/floor/npo_shop.htm



野山ウォーク・自然観察

中高年・高齢者向けの優しい野山散策を楽しみませんか。

- 日 程：7月21日(金)、8月11日(金)、25日(金)
- 場 所：仙台市西部の里山
- 参 加 費：500円
- 持 ち 物：昼食飲み物等は持参ください。
- 申込方法：下記連絡先にTELで申込み。
- 申込締切：開催3日前
- 主 催：東北アウトドア情報センター
- 連 絡 先：TEL：090-8616-1397
mail：ldw00510@nifty.com
URL：http://toi2015.o.oo7.jp/



シニアのための「パソコン、タブレット無料相談会」

パソコン、タブレットでわからないことなどありましたら、ご自分のパソコンやタブレットをもってお気軽にお出かけください。

- 日 時：7月21日(金) 10:00～12:00
- 場 所：せんだいメディアテーク 7階
(仙台市青葉区春日町2-1)
- 対 象：60歳以上
- 定 員：10名(先着順) ※定員になり次第締切
- 参 加 費：無料
- 申込方法：下記連絡先にTEL、FAX、E-mailで申込み。
- 主 催：NPO法人仙台シニアネットクラブ
- 連 絡 先：TEL・FAX：022-395-7921
E-mail：ssnc06@ybb.ne.jp (担当：加藤)
URL：http://ssnc.main.jp/public/



つるがや元気会市民講座 地球は大きな薬箱～意外と身近な薬草

日々の散策や山歩きを楽しみながら、身近な野草が持つ薬としての力を再認識してみませんか。

- 日 時：7月21日(金) 14:00～15:30
- 場 所：鶴ヶ谷市民センター(みやぎ鶴ヶ谷生協西隣り)
- 講 師：池上文雄氏(千葉大学環境健康フィールド科学センター)
- 参 加 費：無料(申込不要)
- 主 催：つるがや元気会
- 連 絡 先：ひまわり手芸店
TEL：022-251-5663(担当：芦澤)



夏休み宿題企画！ 「親子でソーラーカーを作ろう」

夏休みの工作・思い出作りに親子でソーラーカーを作りませんか？

- 日 時：7月22日(土)10:00～12:00(受付開始9:45～)
※要事前申込み

- 場 所：みやぎ生協 集会室501号
(仙台市青葉区柏木1-2-45 フォレスト仙台5階)
- 定 員：小学生+保護者 10組20名(先着順)
ソーラーカーはお子様1名につき1台まで作れます。小学生以上。
- 参 加 費：一般1,700円 会員1,500円(指導料、材料費込)
子ども1名に保護者1名以上
※当日受付で徴収します。
※当日キャンセルは1,500円請求します。
- 持 ち 物：筆記用具、飲み物、(あれば)つめきり※プラモデルを作るときに使います
- 申込方法：下記連絡先にTEL、FAX、E-mailで申込み。申込み時、お子様・保護者氏名(ふりがな)、TEL、住所、生年月日、性別をお知らせください。
- 申込締切：7月13日(木)
- 主 催：公益財団法人みやぎ・環境とくらし・ネットワーク(MELON)
- 連 絡 先：TEL：022-276-5118 FAX：022-219-5713
E-mail：melon@miyagi.jpn.org
URL：http://www.melon.or.jp/melon/



「風は生きよという」仙台上映会

ふつうの街でふつうの生活を送る人びと…。特別なことといえば、呼吸するための道具・人工呼吸器を使用していることくらい。淡々とその生活を映し出し、じんわりとこころを揺する、人と人とが織りなす物語。

- 日 時：7月22日(土) 上映会①14:00～、トークショー15:30～、上映会②18:00～
- 場 所：エル・パーク仙台 ギャラリーホール
(仙台市青葉区一番町4-11-1 141ビル6階)
- ゲ ス ト：出演者：海老原宏美氏
監督：穴戸大裕氏
ほか地元から2名登壇予定
- チケット：前売り：1,000円(当日1,200円)
- 取り扱い：火星の庭、右岸の羊座、桜井薬局セントラルホール、横田や、コッペ、オレンジねっと、聖パウロ書院、日本キリスト教団東北教区センターエマオ、よめごや、CILたすけっと、他
- 主 催：CILたすけっと、共育を考える会
- 連 絡 先：TEL：022-248-6054 FAX：022-738-9501



情報モラルを仏教の教えから、考えて みよう！学習会(全3回講座)

倫理の原点と情報モラルを、仏教の教えから参加する皆さんと一緒に話し合います。

- 日 時 等：【第1回】7月23日(日) 14:30～16:00
内容：「十善と十悪について」
場所：みやぎNPOプラザ 第2会議室
- 【第2回】8月20日(日) 14:30～16:00
内容：「思いやりの心について」
場所：みやぎNPOプラザ 第1会議室
- 【第3回】8月27日(日) 14:30～16:00
内容：「日常生活に役立つ仏教の教えについて」
場所：みやぎNPOプラザ 第1会議室
- 講 師：深澤ひろ美氏(NPO法人地域情報モラルネットワーク会員)
- 対 象：テーマに関心のある方どなたでも
学生さんの参加、大歓迎です。
- 定 員：20名
- 参 加 費：無料

- 日 時：7月16日(日)
【7歳未満の部】 10:00～11:30(受付開始9:50)
【7歳以上の部】 13:30～15:00(受付開始13:20)
- 場 所：ワンダーアートスタジオ
(仙台市若林区荒町172 第一旭ビル2階)
- 参加費：無料
- 内 容：ペインティングアート体験(手話通訳あり)
- 対 象：障がい(聴覚・知的・自閉症・ダウン症等)のある子ども・ない子ども・ご家族
- 定 員：各回30名(要予約)
- その他：汚れても良い服装でご参加ください。駐車場は事前にご相談ください。
- 申込方法：お名前[保護者・子ども(ふりがな)]、性別、年齢(子どものみ)、障がいの有無・種類、参加希望時間、当日連絡先を明記の上E-mailで申込み
- 申込締切：7月10日(月)
- 主 催：ARTS for HOPE
- 連絡先：TEL：03-6240-1525(平日9:00～18:00)
E-mail:artsforhope@gmail.com (担当:小松)

7/16 食と農の持続的な発展を考える

講師に「農」を通しての社会の現状と課題、そして具体的な対策についてのお話を伺います。

- 日 時：7月16日(日) 13:30～16:30
- 場 所：仙台市市民活動サポートセンター
6階セミナーホール(仙台市青葉区一番町4丁目1-3)
- 講 師：菅野芳秀氏(置賜自給圏推進機構常任理事)
- 参加費：資料代500円
- 申込方法：下記連絡先にTELで申込み。
- 主 催：シニア・ワーカーズ・コープ仙台
- 連絡先：TEL：090-2566-4765(担当:森田)

7/16 あなたの心に寄り添う傾聴サロン 7月～9月

あなたの不安や悩み、誰にも言えない心の内を話に来て下さい。当会のカウンセラーが個別に対応します。どなたでもお気軽にご参加ください。(守秘義務遵守…プライバシーは守ります)

- 日 時：【名取会場】
日時：7月16日(日)、8月20日(日)、
9月17日(日) 10:00～15:00
会場：名取市市民活動センター(第3日曜日)
【岩沼会場】
日時：7月19日(水)、8月お休み、
9月20日(水) 10:00～15:00
会場：岩沼市総合福祉センターiあいプラザ
(第3水曜日)
【塩竈会場】
日時：7月23日(日)、8月27日(日)、
9月24日(日) 10:00～15:00
会場：塩竈市公民館本町分室(第4日曜日)
【仙台会場】
日時：8月5(土)、9月2日(土) 10:00～15:00
会場：仙台市福祉プラザ(第1土曜日)
- 電話相談：会場に来られない方は、お電話での傾聴も
毎週火・水・土曜日 9:00～17:00
専用電話 080-3199-4481
- 参加費：無料(要予約)
- 申込方法：下記連絡先にTEL、FAX、E-mailで申込み
- 主 催：NPO法人仙台傾聴の会

- 連絡先：〒981-1232 名取市大手町5-6-1
名取市市民活動支援センター内
(代表理事 森山英子)
TEL：090-6253-5640 FAX：022-343-9705
E-mail：moriyama-e@tulip.sannet.ne.jp
URL：http://sendaikeicho.web.fc2.com/

7/16 《宮城・仙台 民間教育機関の不登校支援の取り組みから》 不登校解消への取り組み ～いじめ・発達障がい…など～

- 日 時：7月16日(日) 13:00～16:00
- 場 所：みやぎNPOプラザ
※榴ヶ岡公園北口前 JR榴ヶ岡駅徒歩7分
※無料駐車場有り(台数制限有り)
- 内 容：①基調講演「不登校解消へ星槎名古屋中学校の取り組み」
講師：安倍雅昭氏(星槎名古屋中学校校長)
②シンポジウム「不登校解消へ民間教育機関の取り組みと連携」
パネリスト：安倍雅昭氏(同上)
石川昌征氏(フリースクールだいと)
土佐昭一郎氏(NPO法人ミヤギユースセンター)
③個別相談
- 定 員：30名(予約優先・当日参加も可能)
- 参加費：無料
- 申込方法：下記連絡先にTEL、FAXで申込み。
- 主 催：NPO法人ミヤギユースセンター
フリースクールだいと
- 連絡先：NPO法人ミヤギユースセンター
TEL・FAX：022-256-7977
URL：http://www.miyagiyouht.npo-jp.net/

7/17 日向 薫 朗読ミュージカル

元宝塚星組トップスター、現在劇団ひまわりの日向 薫が生
のピアノ演奏だけをバックに装置も小道具も無い舞台上で本を
手に歌い演じる。

- 日 時：7月17日(月・祝日) 14:00～
- 場 所：エル・パーク仙台 ギャラリーホール
(仙台市青葉区一番町4-11-1)
- 内 容：日向 薫(劇団ひまわり)朗読ミュージカル。作、
演出 山崎 陽子。プログラム「バルコニーにて」
「水たまりの王子」。
- 対 象：大人向け
- 定 員：200名
- 参加費：3,500円(当日500円増し)
- 申込方法：下記連絡先にTEL、FAX、E-mailで申込み。※託児検討中
- 主 催：仙台若林子ども劇場
- 連絡先：仙台市若林区若林3-1-18-105
TEL：022-282-9020 FAX：022-282-9020
E-mail:w_kogeki01@yahoo.co.jp (担当:三塚)

7/20 【みやぎNPOプラザ短期ショップ】 バリアフリーつくりの塾 夏バザー (期間：7/20～7/25)

塾生の作品やユニバーサルファッション工房織のオリジナル作品
の販売・展示、衣服相談、失敗しないがま口ポーチ講習も行います。

- 期 間：7月20日(木)～7月25日(火) 10:00～15:00
※7月24日(月)は休館日

●主 催：公益財団法人宮城県国際化協会(MIA)
 ●連 絡 先：〒981-0914 仙台市青葉区堤通雨宮町4-17
 宮城県仙台合同庁舎7階
 TEL：022-275-3796 FAX：022-272-5063
 E-mail：mail@mia-miyagi.jp
 URL：http://mia-miyagi.jp/

7/15 わたしをもっと知って大切に ころろ・からだカフェ Vol.2 「妊娠のモヤモヤ」

「彼が避妊に協力してくれない」「妊娠についてあまり知らなくてなんだかモヤモヤする」など、悩んでいること、気になることを相談してみませんか？

- 日 時：7月15日(土) 13:30～15:30
- 場 所：エル・ソーラ仙台(アエル29階)
(仙台市青葉区中央1丁目3-1)
- 講 師：やはたえつこ氏(助産師、NPO法人ハーティ仙台代表理事)
- 対 象：15歳～39歳の女性
- 定 員：16名(先着順)
- 参 加 費：無料
- 託 児：利用料 300円(お子さん1人1回につき)
対 象 6ヶ月以上小1まで。(障がいのあるお子さんや上のお子さんについてもご相談ください。)
申込締切 7月6日(木)まで
※利用料は当日託児会場でお支払いください。
- 申込方法：下記連絡先にTELまたはHPから申込み。
- 主 催：仙台市、公益財団法人せんだい男女共同参画財団
- 連 絡 先：仙台市男女共同参画推進センター
エル・ソーラ仙台 相談支援係(アエル29階)
TEL：022-268-8302
URL：http://www.sendai-l.jp/
※受付時間 月・水～土 9:00～17:00
火 9:00～21:00(祝日・休館日を除く)

7/15 TAGAJO Future Labo 3rd Season 受講生募集(全7回講座)

7月～1月の7回連続講座です。自分のため、地域のため、「何

かしたい」「自分の特技を地域で活かしたい」という思いをかたちに、地域への第一歩を踏み出すきっかけをつくりませんか。

- 日 時：①7月15日(土) 13:00～17:00
「あなたのやりたいことはなに?想いを描くワークショップ」(会場：多賀城市市民活動サポートセンター)
 - ②8月19日(土)「OB・OGの話を聞こう」
 - ③9月16日(土)「一歩先行く地域のパイオニアへエクスカッション」
 - ④10月21日(土)「エクスカッション&想いの整理と確認のワークショップ」
 - ⑤11月18日(土)「やりたいことをさらに深めるディスカッション」
 - ⑥12月16日(土)「自分の想いをまとめて発表会への準備」
 - ⑦2018年1月20日(土)「みんなに宣言!マイアプローチ発表会!」
- ※2回目以降の会場・時間などの詳細は、後日お知らせします。
 ※受講を希望しているが、参加できない回があるという方は気軽にご相談ください。

- プログラムアドバイザー：阿部結樹氏
(一般社団法人ふらっとーほく代表理事)
- 参 加 費：無料
- 申込方法：下記連絡先にTEL、FAX、E-mailのいずれかで申込み
- 主 催：多賀城市(多賀城市市民活動サポートセンター)
- 連 絡 先：多賀城市市民活動サポートセンター
〒985-0873 多賀城市中央2-25-3
TEL：022-368-7745 FAX：022-309-3706
メールフォーム
https://ssl.form-mailer.jp/fms/5f761f0a515489
E-mail：tagajo@sapo-sen.jp
対応可能な日時 月～土：9:00～21:30、
日祝：9:00～17:00 ※水曜は休館

7/16 ARTS for HOPE ボーダレスアートプログラム開催!(手話通訳あり)

障害の有無を越え子どもたちが集い、アートを通して緩やかに繋がるボーダレスアート施設「Wonder Art Studio」にて、ホスピタルアートプロデューサー高橋雅子による公開アートイベントを開催します。

縦覧中

●縦覧中の団体の申請書類はこちらから確認できます

■宮城県 <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/kyosha/seturitu-zyuran.html>
 ■仙台市 http://www.city.sendai.jp/d01/1202909_1433.html

!! 仙台市における認証手続きの変更について

国家戦略特別区域法第24条の4の規定により、仙台市では特定非営利活動促進法の特例が適用され、仙台市が所管するNPO法人の認証申請(設立、定款変更、合併)における申請書類の縦覧期間が、2カ月から2週間に短縮される等、認証手続きが変更になりました。仙台市は、縦覧期間中の申請書類をホームページで公表します。右記のURLからご確認ください。 ■http://www.city.sendai.jp/d01/1202909_1433.html

NPO法人の設立を新しく申請した団体			
団体名	所在地	活動内容	受理日
宮城県等 石母田ふる里 保全会	加美町	この法人は、農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図るための地域の共同活動を行い、農村環境及び資源の適切な保全、維持に必要なことを取り組む。	5/15

NPO法人に認証された団体			
団体名	所在地	活動内容	認証日
宮城県 宮城県キャリア コンサルタント協会	青葉区	キャリアコンサルタントに関する普及啓発活動及び、セミナー、イベント等の企画開催事業。求職者や在職者等の個人に対するキャリアカウンセリング及びコンサルティング事業。行政機関、各種団体、民間企業からの受託又は代行による求職者や在職者等に対するキャリアカウンセリング及びコンサルティング事業他	5/17
仙台市 Lateral Pass	青葉区	児童福祉法に基づく放課後等デイサービス。児童福祉法に基づく児童発達支援事業。子育て支援のための保育事業 他	5/18
Plus Game	太白区	高齢者施設への余暇提供サービス及び余暇関連機器レンタル事業。高齢者施設や地域のコミュニティの催事・イベント等での遊戯提供サービス事業。余暇提供サービスの認知度向上事業 他	5/23
ACE Sports Club	太白区	スポーツクラブの運営。高齢者健康増進事業	5/29
地域生活支援オレンジなっと	泉区	生活支援事業。介護予防事業。コミュニティカフェ・サロン事業 他	5/29
メブレ	泉区	健康づくりのための運動に関する普及啓発。健康づくりのための運動に関する情報の収集及び提供。健康づくりのための運動に関する講習会、研修会の実施 他	6/9

宮城県のNPO法人数

810 団体

※2017年6月10日現在

●宮城県等所轄：393団体 ●仙台市所轄：417団体

この期間、宮城県を所轄庁として認定を受けたNPO法人

●NPO法人防災・減災サポートセンター(富谷市)

有効期間 平成29年5月24日から平成34年5月23日まで

- 申込締切：7月15日(土)
- 主 催：伊達ルネッサンス塾
- 連絡先：事務局(YOMOYAMA COMPANY内)
TEL：080-1842-1426(堀米)
E-mail：daterune@gmail.com

7/15 貧困問題から地域支援を学ぶ学習会 「地域の力で地域を支える」 ～貧困問題の現状から考える地域の支援～

「子どもの貧困」が社会課題となっている現在。生活困窮の実態や格差問題が地域にもたらしている現状を理解し、今後の支援の在り方を一緒に考えてみませんか。

- 日 時：7月15日(土) 10:30～12:30
- 場 所：仙台国際センター 大会議室 萩
- 講 師：湯浅 誠氏(法政大学現代福祉学部教授)
- 定 員：100名(定員になり次第締切)
- 参加費：無料
- 申込方法：下記連絡先にメールまたはFAXで氏名・所属・連絡先・託児希望の有無を記載の上申込み。
- 主 催：みやぎ生協生活文化部
- 連絡先：TEL：022-347-3826 FAX：022-218-5945
E-mail：sn.m26368hi@todock.jp

イベント

7/11 情報誌 みんなで考えるアイデアワーク!

アイデアのプロが少人数向けに技とノウハウを伝授! 発行部数をはじめ、どのような配布ルートを得て発行しているのか、また取材方法などについて深掘し、未来に向けたユニークな「情報誌」アイデアを探ります。

- 日 時：7月11日(火) 19:00～21:00
- 場 所：メディアデザイン「ワークスタジオ」
(仙台市青葉区木町通1-1-11 朝日プラザ北一番町1階)
- 講 師：鉄本由美氏(プラス・アイデア代表)
- 定 員：7名
- 参加費：2,000円(1名)
- 申込方法：下記連絡先にTEL、E-mailで申込み。
- 主 催：一般社団法人メディアデザイン
- 連絡先：TEL：090-3049-0613(千葉浩二)
E-mail：kouza@mediadesign.jp
URL：http://mediadesign.jp

7/15 MIA日本語サポーター 技能実習生サポートのためのスキルアップ講座(2回連続講座)

アジア各国から来日し、各種産業の貴重な担い手となっている外国人技能実習生の日本語学習や、地域とのつながりづくりをお手伝いするサポーターとして活動するための知識と情報を共有するための講座。

- 日時場所：第1回 7月15日(土) 13:30～16:45
第2回 7月29日(土) 13:30～16:45
※2回連続でのご受講をお願いします
- 場 所：仙台市戦災復興記念館 4階会議室
- 内 容：第1回
・技能実習生の受入れの現状
・技能実習生のサポートの実際
・技能実習生の出身国について①
～インドネシアの生活習慣と言葉～
第2回
・わかりやすい日本語で話す工夫
・日本語学習の教材あれこれ
・「日本語能力試験」について
・技能実習生の出身国について②
～ベトナムの生活習慣と言葉～
- 対 象：「MIA日本語サポーター」に既に登録している方、またはこれから登録して活動することに関心がある方
- 定 員：30名
- 参加費：無料(要申込み)
- 申込方法：下記連絡先にTEL、FAX、E-mailで申込み。
申込み時、お名前・ご住所・TEL・E-mailをお知らせください。

7/11 アートカx∞ 2014から2017 ～つながるもの、つなげていきたいもの～

臨床美術士が関わる現場の作品展! 体験ワークショップも随時開催!! 絵をかいたり、ものを作ることで、社会とつながるアート。その力には無限大の可能性が秘められています。さまざまなアートの現場をのぞいてみましょう!

- 日 時：7月11日(火)～7月16日(日)
10:00～17:00(最終日は15:00迄)
- 場 所：宮城県美術館 県民ギャラリー1
- 内 容：参加型ワークショップ同時開催!
- 参加費：入場無料、入退場自由。
- 主 催：アートx∞実行委員会
- 連絡先：FAX：022-208-7791
E-mail：art@tfu-ac.net
URL：https://www.facebook.com/a.r.k.mug

会 員 募 集

社の伝言板ゆるるは「地域の課題を自分たちで解決しよう!」と取り組む市民活動団体をサポートするとともに、市民のみなさんが市民活動やボランティアに興味を持ち、参加しやすい環境づくりを進めています。活動の柱となる月刊誌は、20年を超えて毎月欠かさず発行してきました。これもみなさまの温かいご支援のおかげです。

これからも安心して暮らせる地域づくりのために、多様な情報発信と支援活動を続けていきますので、ぜひ会員として支えてください!

会員種類	年会費
正会員個人・NPO	10,000円
正会員法人	20,000円
賛助会員個人	□ 3,000円
賛助会員NPO	□ 5,000円
賛助会員企業・団体	□ 20,000円

※正会員以外は、総会での議決権がありません。

郵便振替口座

口座番号 **02250-0-43800**

加入者名 **特定非営利活動法人
社の伝言板ゆるる**

会員申込の方は、通信欄に会員の種類をご記入ください。

information

6月15日までにゆるる編集部へ届いた情報です。
詳細は各情報の連絡先にお問い合わせください。

ボランティア情報

学習サポートスタッフ・事務局担当スタッフ募集

小・中学校の基礎科目を学び直す場である「仙台自主夜間中学」で、生徒の学習をサポートするスタッフと事務局担当をしてくれるスタッフを募集しています。

●活動日等：【学習サポートスタッフ】

〈水曜日授業〉毎月第1、第3水曜日
昼間部14:00～16:30 夜間部18:00～20:30
授業場所：仙台市市民活動サポートセンター
(仙台市青葉区一番町4-1-3)

〈金曜日授業〉毎月第2、第4金曜日
夜間部18:00～20:30
授業場所：仙台市生涯学習支援センター
(仙台市宮城野区榴岡4-1-8)

【事務局担当スタッフ】

下記連絡先にお問合せ下さい。

- 申込方法：下記連絡先にTELで申込み。
- 応募主体：仙台に夜間中学をつくり育てる会
- 連絡先：代表：中澤(なかざわ) 八榮(やさか)
TEL：090-7562-3227
E-mail：sendai.yakan@gmail.com
URL：http://blog.canpan.info/yakan/

日帰りキャンプボランティア募集

民間学童クラブアフタースクール：キッズベースでは、子供達の長期休み中様々な行事を開催。今年は月浜での日帰りキャンプで夏の自然体験をしたいと思っています。スタッフの一員として、子供と一緒に自然活動に参加してみませんか？

- 活動日時：8月4日(金) 9:00～18:00
- 活動場所：東松島市 月浜海水浴場
- 活動内容：子ども達の安全管理、見守りなど
※子ども達と一緒に海に入って頂きますので、水着をご持参ください。
- 募集人員：10名程度(男女問わず)
- 報酬：・月浜海水浴場までの往復交通費
・昼食のお弁当は、弊社で負担
・海水浴後のシャワー代
- 申込方法：下記連絡先にTEL、FAX、E-mailで申込み
- 応募主体：NPO法人働くお母さんと子どもを支援する会
- 連絡先：〒981-0901 仙台市青葉区北根黒松2-10
クローバーズピア ワッセル2階 (担当：加藤)
TEL：022-346-0130(平日17:00～20:00)
FAX：022-346-0156
E-mail：m-katou@kidsbase.jp
URL：http://kidsbase.jp

事業案内

着なくなった衣類・バック・使用済み食器をご寄付お願いします！

ふきのとう村田では、リサイクル活動をしています。またその一部をカンボジアやマレーシア等に輸出しています。障害者の自立と社会参加を目的とし、リサイクル活動として仕上げ作業を障害者就労支援事業としています。

- 営業日：毎週月曜日～金曜日 9:30～16:30
- 場所：柴田郡村田町大字小泉字南乙内22
- 対象物品：ご家庭の衣類や食器、ギフト商品やまだ使用できる商品を回収いたします。
 - ◇紳士・婦人・子供服・着物
※洗濯済みのものをお願いいたします。
※寝具や肌着はお受けできません。
 - ◇カバンやリュックなど
 - ◇食器・調理器具
※食器は使用済みで数の不揃いでもOKです。
※割れや欠けのないものをお願いします。
- 回収方法：ふきのとう村田にご持参いただくか宅配便での受付。量が多い場合は仙南・仙台地区に限り回収に伺います。
※食器を送る際は新聞紙や段ボール、衣類などで保護をお願いいたします。
- 寄付方法：下記連絡先にTEL・E-mailで問い合わせの上、寄付方法を確認してください。
- 応募主体：一般社団法人ふくのね ふきのとう村田
- 連絡先：〒989-1302 宮城県柴田郡村田町大字小泉字南乙内22 (担当：高橋・齋藤)
TEL：0224-83-5743 FAX：0224-82-2341
E-mail：fukinotou5743@gmail.com

伊達ルネッサンス 第4期塾生募集中 (全6回、締切：7/15)

「地域」と「自分」の二つの視点から自分だけのマイプランを探します。塾生同士はもちろん、OBや地元のサポーターの皆さんが、あなたの一歩を支えてくれる一生ものの仲間になります。

- 日程場所：各回とも午後開催
第1回「自分を知らう」7月29日(土)@山元
第2回「ビジョン・ミッションを描こう」8月26日(土)@亘理
第3回「プランを具体化しよう」9月23日(土)@丸森
第4回「アクションを起こそう」11月4日(土)@角田
第5回「自分だけのマイプランへ」12月2日(土)@山元
第6回「マイプラン発表会」2018年2月3日(土)@角田
- 塾長：尾野寛明氏(有限会社エコカレッジ代表取締役)
- 参加費：塾生受講料30,000円 各回一般聴講費1,000円
- 申込方法：HP (<https://www.daterenai.com/>)からお申込ください。



第15回 社の伝言板ゆるる 通常総会のお知らせ



日頃より、当法人の活動にご理解、ご協力いただき、ありがとうございます。
さて、7月23日に当法人の第15回通常総会を開催いたします。正会員の皆さまはご出席をお願いいたします。なお、議決権はありませんが、賛助会員の皆さまもオブザーバーとしてご参加いただけます。※社の伝言板ゆるるは、ご賛同くださる皆さまの会費で運営しています。
平成29年6月1日より、新年度を迎え、平成29年度の会員を募集中です。ぜひ、ご支援、ご協力をお願いいたします。会員については、P14をご覧ください。

■日時：平成29年7月23日(日) 18:00～20:00

■会場：エル・ソーラ仙台 研修室 (仙台市青葉区中央1-3-1 AER28階)

7/28
メ切

みやぎNPOプラザ 事務室 使用団体募集!

NPOや市民活動団体の皆さんに、活動拠点となる事務室をお貸しします！
メンバーがいつでも集まれる拠点を持つことは、組織基盤の強化や活動の発展につながります。
皆さんの熱い想いを実現させるため、みやぎNPOプラザの事務室を活用してみませんか？
みやぎNPOプラザも、しっかり運営をサポートします。この機会をお見逃しなく！

募集施設	募集数	面積	月額使用料(税込)	使用期間	主要設備
事務室(大)	1団体	約18㎡・約11畳	18,500円	平成29年 9月1日(金) より最長3年間	机×1、事務用椅子×1、補助椅子×1、キャビネット×1、電気コンセント、電話用モジュラージャック(アナログ)、インターネット用モジュラージャック(別途月額1,000円※税込)
事務室(中)	1団体	約9㎡・約5.5畳	9,200円		
事務室(小)	1団体	約4㎡・約2.5畳	4,100円		

～使用開始までのスケジュール～

7/28(金) 募集(申込)締切
↓
8/4(金) 公開ヒアリング・選考
↓
8/5(土) 選考結果連絡
↓
使用開始(各施設9月1日から使用開始)

申込方法

必ず「募集要項」の応募団体の要件、入居後の使用条件、選考の方法など詳細をご確認のうえ、所定の申込書と必要書類を併せて、みやぎNPOプラザまでご持参ください。※募集要項・申込書はみやぎNPOプラザ窓口、宮城県共同参画社会推進課などで配布しています。また、インターネット(<http://www.miyagi-npo.gr.jp>)からもダウンロードできます。

連絡先

みやぎNPOプラザ(連絡先はP8をご覧ください)